

仙台・宮城 新観光キャッチコピーの一般投票を開始します！

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会では、仙台・宮城の観光をより一層盛り上げるためのシンボルとなる新しいキャッチコピーを作成します。

昨年 10 月から 11 月にかけて募集を行い、**県内外から 2,651 件の応募がありました。**

このたび、仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会会員等の観光関係者及び外部有識者による 1 次審査の結果、最終候補となる作品 5 案が選定されましたので、**県民をはじめとする皆様による投票を実施し、採用作品を決定します。**

合わせて、**投票いただいた方の中から抽選で 100 名様に、500 円分のデジタルギフトをプレゼントするキャンペーンを実施します。**

1 候補作品

	キャッチコピー案	応募者コメント
①	出会う旅、結ぶ旅、伊達な旅。 (であうたび、むすぶたび、だてなたび。)	色々なものに出会う旅であり、色々な縁が結ばれる旅であり、粋な旅でもある。
②	結ぶ旅 いつも宮城に「ひとめぼれ」 (むすぶたび いつもみやぎに「ひとめぼれ」)	結ぶ旅は、むすび丸を取り入れました。 「ひとめぼれ」は宮城のお米を取り入れました。
③	いつ伊っ達！なん度伊っ達！だれ伊っ達！ (いつだって！なんどだって！だれだって！)	素晴らしい景色と美味しい食べ物の宝庫仙台・宮城。 老若男女が季節を問わずに何度でも訪れて欲しいと思い、仙台・宮城と“だて”をかけました。
④	みちのく みちくさ みちみちみやぎ	「みちのく」で、思わず興味を奪われてつい、「道草」。 「みちみち」には「未知な魅力が満ち満ちの地」の他に「美地」「味地」など宮城の自慢をぎゅぎゅっと詰め込みました。
⑤	みやげ話は、みやぎ話。 (みやげばなしは、みやぎばなし。)	仙台だけでなく宮城全体を観光していただき、その思い出をたくさんの人に共有してもらいたいとの思いからこのキャッチコピーを考えました。宮城旅行の土産話を聞いた人が宮城に興味を持って来県し、それぞれの「みやぎ話」を持って帰ってくれたら、こんなに幸せなことはありません。そしてその思い出を誰かに話すことで、さらに宮城の観光にとって良い効果をもたらすことを期待しています。

2 一般投票の概要

(1) 投票期間

令和7年1月29日(水)～2月21日(金) 午後5時

(2) 投票資格

どなたでも投票可能(投票はお一人様1回まで)

(3) 投票方法

○電子申請 <https://logoform.jp/form/GQGB/858160> (みやぎ電子申請サービス)

○郵送 〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号

仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会事務局 宛

○直接投票 宮城県観光情報発信センター(宮城県庁1階)での投票

※投票に必要な費用は全て投票者の負担となります。



投票フォームはこちら

(4) 結果発表

キャッチコピー決定後、県内の高校・大学・専門学校の生徒やデザイン事務所等が参加するプロジェクトチームを結成してロゴの制作を行います。

新しいキャッチコピー及びロゴマークは、令和7年5月の仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会総会で発表する予定です。

(5) プレゼントキャンペーン

メールアドレスを記入して投票いただいた方の中から抽選で100名様に、500円分のデジタルギフトをプレゼントします。当選した方には、応募時に記入いただいたメールアドレス宛に当選メールを送信させていただき、抽選結果の発表に代えさせていただきます。(当選した方のみへのご連絡となります。)

(6) その他

詳細は仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会ホームページにてご確認ください。

URL : <https://www.sendaimiyagicp.jp/information/information-11190/>

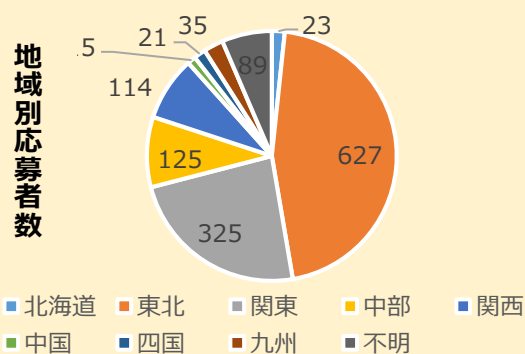


◆仙台・宮城 新観光キャッチコピー 募集結果

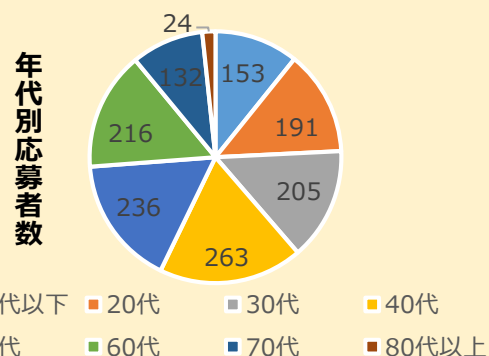
○募集期間 令和6年10月30日(水)～11月29日(金)

○募集方法 仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会ホームページ内の応募フォームから応募

○応募総数 2,651件(応募人数1,377人)



県内はもちろん、東北外からの応募も半数近くあり、全国から応募が寄せられました。



若年層にも学校経由で応募への呼びかけを行い、全年代から幅広く応募が寄せられました。